

了する見込みと聞いています。この改造事業が完了すると洪水調節容量が現在の約1・4倍に増強されることになり、全川的な水位低減効果が期待されるどころです。

また、仮に改造後の洪水調節容量において現在の運用により洪水調節をした場合、国では平成23年に発生した台風15号による洪水被害においては、肱川橋大洲第2地点の水位を約30センチ低下させることができるほか、全川的に効果が推測されています。

このため、流域に暮らす市民の安全・安心の確保のためにも、一日も早く鹿野川ダム改造事業が完了するように市としても国、県と連携して事業を推進していきたいと考えています。

議会改革調査特別委員会の取り組み

当委員会は、議会の組織及び運営の状況を再検証し、議会のさらなる機能発揮に向けて、自ら改革を進め、活性化を図る目的で、平成23年12月定例会で設置されました。

これまでに、議員定数の削減や、例規集の電子化を初め、さまざまな項目を調査・検討してきました。今回更なる改革として、開かれた議会、住民参加の議会を目指し、先進地へ視察を行いました。視察を行った、各市議会は、議会改革の先進地であり、議会の身を削る改革はもとより、市民目線の開かれた議会を目指し、さまざまな取り組みを実施されていました。

中でも、議会に関わる基本的な事項を定めた議会基本条例については、3市議会が制定済みで、1市議会が制定間近となっております。各市議会とも、議会基本条例に、住民報告会などを年に数回開くと定めており、制定後は、定期的に、議会の報告を行われたとのことでした。

また、本会議における質疑・質問について、一つの質問に対して、即座に一つの答えを述べる一問一答方式の導入や、本会議及び委員会をインターネットで中継・録画配信されていました。

今回の視察を終えて、当委員会では、開かれた議会、住民参加の議会が重要であると再認識し、議会基本条例の制定、本会議での一問一答方式の導入、インターネット中継の配信等、さらに検討することとしております。

◆◆先進地視察の様子◆◆



加西市議会



生駒市議会



天理市議会



亀岡市議会



中継用カメラを設置した議場



インターネット中継用カメラ